

児童発達支援 事業所評価集計表（保護者等向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	45%	45%	10%	・利用人数によっては部屋が狭く感じる ・園外活動も多いので子どもにとってはとても良い	人数の多い日は2室あるプレイルームや和室に分かれて活動するなど工夫しているが今後さらに快適に活動できるよう活動内容の検討を行う
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	80%	20%			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・児童指導員3名・保育士・経験者）在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが更に専門性を高められるような取り組みを展開したい
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	70%	30%		・バリアフリー化されていない箇所もあるが生活する上での訓練・注意点にもなるので悪い事ではないと思う	借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、例えば段差の部分には色を付ける等して危険を感知できるよう工夫していきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	10%			毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等継続的に行い、療育に必要な備品等も少しずつ揃えていきたい
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	82%	18%			保護者から聞き取りや利用児の様子を専門指導職員等ともより連携を深めて計画の作成を行っていく
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	70%	30%		・保護者の視点だけでなく職員の経験等からの視点で一緒に計画を立ててもらい心強く感じます ・説明を受けたのかもわからないがガイドラインなのかかわからない	支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分であるため今後説明をおこなっていききたい
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	60%	20%	・できれば定期的に行ってほしい	近隣の幼稚園等に呼びかけ今年度中に交流が持てるよう進めていく
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	60%	30%	10%	・ガイドラインのねらい支援内容がわかりません	発達支援の他にもご家族への支援や地域との交流活動等についても実施できるよう支援計画等でこれらについて盛り込んでいき、それらに対する理解も得られるよう説明をしていきたい
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	60%	30%	10%	・していただいていると思うが何が家族支援プログラムに当たるのかわからない（個別面談がそれにあっているのか？）	今までと同様に個別面談等を通じ実施する他に、就学支援等専門家による研修会の実施も行っていきたい
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				

説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	63%	27%	10%	・保護者自身が集まらないだけで機会は設けてもらっている	毎月ゆずの日を設定し保護者が集えるようお部屋の開放を行っているがより集まりやすくする工夫を行う 今年度は月に一度保護者に向けたフィットネスをインストラクターを招き実施している
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の整備がされているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	90%	10%			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	90%	10%			
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	60%	40%		・地震等発生時の引き渡し、連絡体制等の明確化が必要に感じる	保護者も参加していただき引き渡し訓練の実施を考えている 連絡体制は電話だけでなく現在使用しているSNSも活用し体制の確立をはかる
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	90%	10%			毎月実施しているが実施報告を保護者にも目に見えるような形で行っていく
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			・子ども親もとても大好きな場所です	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				

児童発達支援 事業所評価集計表（事業者向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			人数の多い日は2室あるプレイルームや和室に分かれて活動するなど工夫している
	②	職員の配置数は適切である	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・児童指導員3名・保育士・経験者）在籍し、状況に応じた配置もなされており適切である
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		段差にスロープをつける等しているが足りていない また借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、例えば段差の部分には色を付ける等して危険を感知できるように工夫していきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等行っている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		話し合いは行っているが、目標設定や業務改善における評価はできていないため今後は評価等実施したい
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの実施と結果に対する話し合い・対策を行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は未実施
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部からの情報で研修機会を設けているが、事業所側から働きかけて研修機会を増やしていきたい
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			個別に話す機会を設け実施している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用していきたい
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」は適切な選択がなされている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月担当者を中心に立案している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			全体のバランスを考慮し作成している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎朝利用者の確認から実施している
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有している	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している	

関係機関や保護者との連携	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	直接的な連携は少なく、今後積極的にアプローチしていきたい
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報交換・意見交換を通じ情報共有と相互理解を図っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報交換・意見交換を通じ情報共有と相互理解を図っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	近隣の保育園等と連携し今後定期的に設けていきたい
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	現在は参加していないが機会があれば参加をしていきたい
	保護者への説明責任等	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	
㉑		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	毎月実施している個別指導後の面談を通し行っているが、不十分なところもあるため今後さらに充実させたい
㉒		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・変更時に行っている
㉓		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分であるため今後説明をおこなっていきたい
㉔		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別指導後の面談は定期的実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談対応もしている
㉕		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等はないが、保護者が集う場の提供は毎月実施している
㉖		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応に心がけている
㉗		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS(LINE@)も活用している
㉘		個人情報の取扱いに十分注意している	○		事務室にて管理している
㉙		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードの使用等工夫している
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域で開催されるイベントへの参加はあるが、地域交流行事を実施していないため今後計画し実施していきたい

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しているが保護者への周知がされていないため周知していきたい
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月実施している
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			契約時の調査票にて確認している
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている		○		保護者からの聞き取りで把握はしているが指示書の確認は実施できていないため今後行的確な対応をしていく
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例が少なく作成に至っていないが今後必要になる
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		研修ではないが毎日のミーティングの中で注意喚起も含めて情報の発信等を行っている
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	身体拘束の実態がない

放課後等デイサービス 事業所評価集計表（保護者等向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	40%		・十分とは言えないが、それでもゆすが良いです。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	10%			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・児童指導員3名・保育士・経験者）在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが更に専門性を高められるような取り組みを展開したい
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	40%	10%		借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、例えば段差の部分には色を付ける等して危険を感知できるように工夫していきたい
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	90%	10%			季節に応じたプログラムや事前にいただく予定を基に利用される方が楽しめる内容を今まで同様考えていきたい マンネリ化しないような工夫もしていきたい
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	90%		10%		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30%	40%	30%		近隣の児童クラブ等呼びかけ交流が持てるよう努力する
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			・子供から今日の出来事を聞くことができないので事業所との相互理解を深めるため詳しい状況を知らせてほしい	行き帰りの受け渡し時の連絡をより詳細に行っていきたい また連絡帳の中でも一日の流れがより分かりやすく見られるよう工夫したい
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60%	40%			毎月ゆずの日を設定し保護者が集えるようお部屋の開放を行っているがより集まりやすくする工夫を行う 今年度は月に一度保護者に向けたフィットネスをインストラクターを招き実施している
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%			苦情は特になかった
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	10%		・HPの利用者向けページの更新を早めにしてほしい	翌月予定が決まり次第掲載していく
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	70%	20%	10%		保護者も参加していただき引き渡し訓練の実施を考えている 連絡体制は電話だけでなく現在使用しているSNSも活用し体制の確立をはかる
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	90%	10%			毎月実施しているが実施報告を保護者にも目に見えるような形で行っていく
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%				

放課後等デイサービス 事業所評価集計表（事業者向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数の多い日は2室あるプレイルームや和室に分かれて活動するなど工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・児童指導員3名・保育士・経験者）在籍し、状況に応じた配置もなされており適切である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差にスロープをつける等しているが足りていない また借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、例えば段差の部分には色を付ける等して危険を感知できるよう工夫していきたい
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		話し合いは行っているが、目標設定や業務改善における評価はできていないため今後は評価等実施したい
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施と結果に対する話し合い・対策を行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は未実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部からの情報で研修機会を設けているが、事業所側から働きかけて研修機会を増やしていきたい
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別に話す機会を設け実施している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用していきたい
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月担当者を中心に立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		大きく全体の課題はあるが、各自の細やかな課題とまでは至っていない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体のバランスを考慮し作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝利用者の確認から実施している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校によっては毎月確認調整を行い、その他でも年度初め、学期の切り替わり時期等を含め連絡調整を行っている また行事年間計画をいただく等学校行事の把握に努めている

関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接情報交換・共有を行っている
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		未だ事例がない
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	近隣の児童クラブや児童館等と連携し今後定期的に設けていきたい
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在は参加していないが機会があれば参加をしていきたい
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に直接話したり、毎月実施している個別指導後の面談や連絡帳を通し共有と理解を深めている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		毎月実施している個別指導後の面談を通し行っているが、不十分などところもあるため今後さらに充実させたい
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時・変更時に行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別指導後の面談は定期的実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談対応もしている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等は無いが、保護者が集う場の提供は毎月実施している
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応に心がけている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS(LINE@)も活用している
	③⑮	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事務室にて管理している
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードの使用等工夫している
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域で開催されるイベントへの参加はあるが、地域交流行事を実施していないため今後計画し実施していきたい
非常時の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しているが保護者への周知がされていないため周知していきたい
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月実施している
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	研修ではないが毎日のミーティングの中で注意喚起も含めて情報の発信等行っている
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の実態がない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	保護者からの聞き取りで把握はしているが指示書の確認は実施できていないため今後行的確な対応をしていく
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事例が少なく作成に至っていないが今後必要になる